

講演会

# 『土佐の民具に見る時代と社会 —農具と山林用具を中心に—』

日時：2018年12月2日（日） 14:00～16:00

講師：香月<sup>かつき</sup>洋一郎<sup>よういちろう</sup>氏（元神奈川大学教授）

場所：高知県立歴史民俗資料館 2階多目的ホール

定員：130名（事前申込・観覧券要）

観覧券：一般（18才以上）510円、高校生以下・各種手帳所持者無料

お申し込み：高知県立歴史民俗資料館

〒783-0044 高知県南国市岡豊町八幡 1099-1

TEL 088-862-2211 / FAX 088-862-2110

## 香月洋一郎氏プロフィール・講演会概要

香月洋一郎氏は、学生時代に『忘れられた日本人』（「土佐源氏」を収録）で知られる民俗学者・宮本常一氏に師事し、高知県をはじめ全国各地で民俗調査を続けておられます。景観から集落の歴史を復元し、肉声を組み合わせて実感のこもった文化史を書かれています。日本観光文化研究所所員、神奈川大学教授を歴任され、当館では平成21年から28年にかけて資料収集委員としてご指導を賜りました。

高知県でも豊永郷の集落史と民具、大豊町立川仁尾ヶ内の民俗誌などさまざまなテーマで研究を続けてこられました。土佐打刃物については、旧土佐山田町をはじめ、高知市、檮原町などの鍛冶屋を訪ね、近代における産地化の流れをを明らかにされました。

今回の講演会では、長年調査してこられた農具や山林用具に関して、実際のフィールドワークや全国的な知見に基づくお話がうかがえるものと思います。

この機会にぜひ、ご参加ください。

むらの鍛冶屋

香月洋一郎

